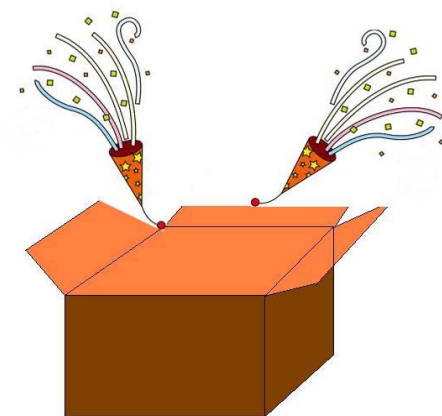




## 2014年度 環境活動レポート

(対象期間:2014年 5月~2015年6月)



**ダンボールを通じて社会貢献!**  
**環境を考える 段ボール会社!**

## □ ごあいさつ

企業活動を進めるに当たり、環境保全とりわけ地球温暖化対策はさけて通れないと認識しております。  
誰かが考えてくれる、自分には関係ないではすまされないことです。  
私たちにできることを「考えよう!」「実行・前進しよう!」  
で取り組んでいます。

東洋紙工株式会社  
代表取締役 田村 耕作

## 環境方針

### < 環境理念 >

当社は、ダンボールの加工業を通じて社会貢献を図ります。  
リサイクルの優等生である素材「ダンボール」を扱っており、資源の大切さを認識し、私達が進んで環境保全維持活動に取り組みます。

1. 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 使用原材料の不良率低減による省資源、廃棄物の減量の推進
3. 水資源の節水
4. 事務用品のグリーン購入の推進
5. 環境に配慮した製品の開発
6. 工場周辺の清掃活動の推進
7. 化学物質使用量の削減

また、環境関連法規制及び当社が約束したことを遵守します。

制定日：2012年5月20日

代表取締役 田村 耕作

□ 組織の概要

- (1) 名称及び代表者名  
東洋紙工株式会社  
代表取締役 田村 耕作
- (2) 所在地  
本社 大阪府四條畷市大字中野4-9-1番地  
本社工場 同上
- (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先  
責任者 工場長 瀬尾 章二 TEL : 072-878-5541  
担当者 事務部 林田 裕美子 同上
- (4) 事業内容  
ダンボールケース及び紙器の製造・販売  
主要製品：ダンボールケース、
- (5) 事業の規模  
製品出荷額 4億円  
主要製品生産量 1680トン
- |       |                    |  |
|-------|--------------------|--|
|       | 本社および本社工場          |  |
| 従業員   | 23名                |  |
| 延べ床面積 | 1587m <sup>2</sup> |  |
- (6) 事業年度 5月21日～翌年5月20日

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名： 東洋紙工株式会社  
対象事業所： 全社

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2010年度	2011年度	2012年度	2013年	2014年
二酸化炭素総排出量	kg-CO <sub>2</sub>	55479	52788	48872	50669	49525
廃棄物排出量	kg	9,000	5,440	6,805	6,248	3,205
一般廃棄物量排出量	kg	1,000	1,440	1,005	869	778
産業廃棄物排出量	kg	8,000	3,970	5,800	5,379	2,427
総排水量	m <sup>3</sup>	456	442	503	556	389

※電力の二酸化炭素排出量換算値

0.355 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

□ 環境目標及びその実績

項目	年度	基準値	2014年度		達成状況	2015年度	2016年度
			(基準度)	(目標)		(実績)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	36,761	35,291	34,802	○	34,923	34,555
	基準年比	(2011年)	96%	95%		95%	94%
液化石油ガス (LPG) の二酸化炭素削減	kg-CO2	3,714	3,565	3,755	×	3,528	3,491
	基準年比	(2011年)	96%	101%		95%	94%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減	kg-CO2	12,314	11,821	10,968	○	11,698	11,575
	基準年比	(2011年)	96%	89%		95%	94%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	52,789	50,677	49,525	○	50,150	49,622
一般廃棄物の削減	kg	1,005	965	778	○	955	945
	基準年比	(2012年)	96%	77%		95%	94%
産業廃棄物 廃インキの削減	kg	1,620	1,555	540	○	1,539	1,523
	基準年比	(2011年)	96%	33%		95%	94%
産業廃棄物 廃プラスチックの削減	kg	700	672	1,787	×	665	658
	基準年比	(2011年)	96%	255%		95%	94%
産業廃棄物 廃木くずの削減 (木型・パレット)	kg	1,650	1,584	100	○	1,568	1,551
	基準年比	(2011年)	96%	6%		95%	94%
節水	m <sup>3</sup>	441	423	389	○	419	415
	基準年比	(2011年)	96%	88%		95%	94%
化学物質 溶剤シナー使用量削減	kg	8.15	7.82	5.09	○	7.74	7.66
	基準年比	(2011年)	96%	62%		95%	94%
化学物質 溶剤POC2使用量削減	kg	20.65	19.82	6.88	○	19.62	19.41
	基準年比	(2011年)	96%	33%		95%	94%
グリーン購入		2012年度カタログ	3品目購入	3品目購入	○	4品目	5品目
製品への環境配慮 エコ素材ダンボールの 優位性をPRする			試作4案 提案4案	試作 案 提案 案 その他 イベント・ 展示会 8回		継続	継続
社会貢献 地域児童公園清掃			3ヶ月に 1回実施	6月14日 10月11日 実施	△	継続	継続
地域社会貢献活動			年2回実 施	年2回以上 実施	○	継続	継続

□ 環境活動計画及び取組結果とその評価、次年度の取組内容

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	次年度	評価 (結果と次年度の取組内容)
<b>電力による二酸化炭素排出量の削減</b>			
・空調温度の適正化 (冷房28℃ 暖房20℃)	△	強化	結果 目標達成 次年度 デマンド計設置テストは良かったので 次年度はデマンド計を設置し、夏場の 電力、電気代を下げたい。
・夜間、休日はパソコン・プリンターの主電源を切る	△	強化	
・昼休みの工場消灯・トイレ・休憩室のこまめな消灯	◎	継続	
・複合機省エネタイプに入替検討	◎	継続	
・デマンド系の設置・検討	◎	継続	
<b>液化石油ガス (LPG) の二酸化炭素削減</b>			
・暖房の適切な温度管理	△	強化	結果 目標達成 次年度 夏場のお茶わかし及び、個人用ヒーターは効果があったものの、冬場のストーブ (食堂) の使用量が増加した。 次年度は夕方6時以降の不在時消火を徹底する。
・不必要な場所の暖房を止める	○	継続	
・ (夏場)のお茶わかし量の削減	○	継続	
・事務所内はガスストーブを控え個人用電気ヒーターを使用	○	継続	
<b>自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減</b>			
・アイドリングストップ	○	継続	結果 目標未達成 次年度 営業車が2台から3台に増加した事。及び1台が老朽化している為、エコカーへの変更を行う。
・鉄道の活用	○	強化	
・近距離は自転車を利用する	○	継続	
・エコカーの検討 (価格と効果の調)	○	継続	
<b>一般廃棄物の削減</b>			
・分別の徹底	○	継続	結果 目標達成 次年度 3S活動を推進する方法を考える。 プリンター類の1ヶ月カウンター枚数を記録し、貼りだす事で、削減意識を高める。
・文章の電子化に取り組む	△	強化	
・3S (整理・整頓・清潔) 活動の実施	×	強化	
・不要コピー紙のリサイクル	○	継続	
・コピー及びプリンターのカウント調査	◎	継続	
<b>産業廃棄物 廃インキの削減</b>			
・色替え回数の削減	○	強化	結果 目標達成 次年度 お客様の理解もあり、特別色の新色はなくなった。次年度は、生産順序など色替回数を減らす方法をオペレーター、業務、工場長でよりよい作業手順をみいだす。
・洗浄回数の削減 (1回洗浄)	○	継続	
・作業ミスによる廃棄量の削減	△	強化	
・インキの集約と使い切る事 (メンテナンス回数の適正化)	○	継続	
<b>産業廃棄物 廃プラスチックの削減</b>			
・素材別ボックスの設置	○	継続	結果 目標達成 次年度 廃版印判のリユース。 過剰プラスチックパレットの転売先の目途をつける。
・リサイクル品の開拓 (ストレッチフィルム) の再生)	○	継続	
・印版やブランケットのリユース	○	強化	
・過剰プラスチックパレットの転売先を探す	△	強化	
<b>産業廃棄物 廃木くず (木型・パレット) の削減</b>			
・素材別ボックスの設置	○	強化	結果 目標達成 次年度 新規木製パレット注文は0ゼロにする事が出来たので、今後も新規木製パレットは注文しない。
・リサイクル業者の開拓	×	継続	
・修理板で修理して長く使用する	○	継続	

取り組み計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
<b>節水</b>			
・節水シールの貼り付けとポスター掲示	◎	継続	結果 目標達成 次年度 水冷式エアコンを新型省エネエアコンへ変更を検討する。
・節水弁取り付け（節水コマ）	×	強化	
・やかん冷やしに流水を使わない	◎	継続	
・水冷式以外のクーラーの価格と効果の調査	△	強化	
<b>化学物質 溶剤シンナー使用量削減</b>			
・容器の蓋の徹底	○	継続	結果 目標達成 次年度 使用量の適正化の基準を考える。
・使用量の適正化	△	強化	
<b>化学物質 溶剤POC2使用量削減</b>			
・容器の蓋の徹底	○	継続	結果 目標達成 次年度 POC2使用時のウエスの代用品を探す （現在のウエスでは効率が悪い様に思う）計量カップがうまくいかなかったの 次年度は計量カップの導入を検討する。
・使用量の適正化	○	継続	
・代替物質の検討	△	継続	
・計量カップで使用量を計る	×	継続	
<b>グリーン購入</b>			
・カタログ調査	○	強化	結果 目標達成 グリーン購入品を意識する事で今までの 購入品を見直す機会につながった 次年度 更に意識の向上を計る。
・プリンタートナーリサイクル品の購入	◎	継続	
<b>製品への環境配慮</b>			
・段ボール素材の優位性のアピール	◎	強化	結果 目標達成 次年度 ダンボール産業は地場産業でもあるので 大阪の地場産業や伝統産業とコラボした 製品の開発を進めたい。
・環境に配慮した製品の開発	◎	継続	
<b>社会貢献</b>			
・地域児童公園の清掃・除草作業	△	継続	結果 目標達成 今年度地域社会貢献活動として、高齢 者施設にて高齢者向けダンボール工作教室 の実施。又、地元小学校へダンボール書架 を贈呈しました 次年度 今後も地域貢献活動を継続し、市役所 とも連携していきたい。
・地域社会貢献活動	○	継続	

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求される事項（施設・物質・事業活動等）	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄	○
廃棄物処理法	産業廃棄物（木くず、廃プラ、廃油等） 適正処理委託	○
騒音規制法	空圧機	○
振動規制法	印刷機・トムソン	○
フロン回収破壊法	業務用空調機、エアドライヤの廃棄時での適正処理委託	○
グリーン調達基準	グリーン購入法適合マーク付商品の購入	○
家電リサイクル法	廃棄時に適切に処理	○
自動車リサイクル法	営業用乗用車の廃棄時適正処理委託	○
資源有効利用促進法	廃棄時に適正処理	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

## □ 代表者による全体の評価と見直し

2013年1月30日にエコアクション21の認証を受けて約2年半がたちました。また原子力発電所事故を始め、エネルギー問題とりわけ地球温暖化防止の取り組みは世界の最重要課題となってまいりました。

私たちはさらに気を引き締め、環境への意識向上と取組を進めなければならないと考えます。従業員全員で課題を見出し、実行できること・改善できることを一つずつ実践していきます。

恒例となった地域清掃活動は、近隣地域の方々へも認識をされるようになってきました。市内で開催された「環境フォーラム」でエコ素材ダンボールを使ったワークショップを実施しお子様から高齢者までリサイクルの楽しさを感じながら考えていただくことができました。

エコ素材を扱う当社の社会的責任として、環境配慮製品の積極的な広報活動を展示会を活用して実施しました。本年度は地元大阪だけでなく、東京ビッグサイトでの展示会にも出展いたしました。念願のダンボール素材製品を販売取扱してもらえるところも開拓する事ができました。次年度はさらに拡販に努めるとともに、新たな発想のエコ製品開発や新たなジャンルの方々との協業によるエコ製品の開発に取り組むと考えています。今後も自分たちにできることを継続性を持って取り組むことで、環境意識の向上と環境保全に努めます。

## □ 環境活動の紹介

リサイクル素材を扱う当社では、率先して環境への取り組みを実施し、またその成果を広く広報していく活動を行いました。

本年度実施した事例をレポートいたします。

### 1:エコ素材「ダンボール」を活用した、イベントなどの紹介

- 1-1: イベント
- 1-2: ワークショップ
- 1-2: 子ども科学実験教室

### 2:環境配慮製品の広報活動である展示会出展

### 3:工場近隣の児童公園にて清掃と除草作業 ほか

### 4:安全講習と避難訓練

- 4-1: 安全講習
- 4-2: 避難訓練

### 5:地域の啓蒙活動や中学生の職業体験

### 6:事務所蛍光灯のLED化

## 1-1:エコ素材「ダンボール」を活用した、イベント

・2014年07月05日  
地元保育園にて、ダンボールイベント協力



地元保育園の夏まつりにて、  
ダンボール遊具の協力をしました。



「ダンボールくっすん」ボールなげ！



ダンボール城壁の氷のお城！



お城の中には、雪だるまキャラクターもいるよ！



楽しくてワクワクする顔出しも保育士さんたちが作成してくれました。  
ダンボールだと工作が簡単で、アイデアがふくらみますね。



・2014年08月23日  
ららぽーと甲子園にてダンボール3Dアートを作ろう  
(商業施設でのイベント)



ららぽーと甲子園の夏休みイベント  
ダンボールアートが開催されました



3枚のダンボールを使って3Dアート作品をつくれます。



完成するとこんな感じにしあがります。



たくさんのダンボールを準備しました。



たくさんの子もたちが熱心に  
取り組んでくれました。  
どんな作品ができるかな？



南国の海と太陽の作品、素敵だね！

ダンボールはエコ素材でありながら、軽くて丈夫なので、様々な工作イベントにご利用  
いただいております。  
特に子どもたちの自由な発想や想像力で素晴らしい作品が制作されました。

大手商業施設の夏休みイベントでしたので、400名以上のご参加をいただくことが  
できました。子どもたちにエコ素材ダンボールの良さを知ってもらうことができました。



・2014年08月30日  
ららポート甲子園にて「ダンボール巨大紙相撲大会」開催



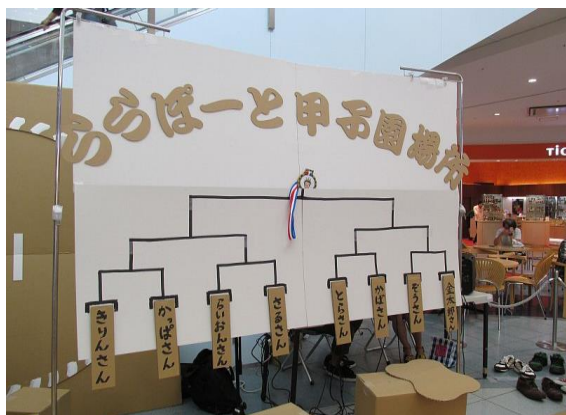
山の広場で設営のようす



完成！全部ダンボールで作りました  
ダンボールめいろと城壁です



みんなで色塗りをして、ダンボールカ士を  
作ります。



8チームがのトーナメント表もできました。



はっけよーい のこった！のこった！



優勝チームにはダンボール記念メダルが  
贈呈されました。

ダンボールの素朴な質感を活かしながら、アーティストの方々と取り組んだ  
巨大紙相撲大会は、大歓声とともに大変盛り上がりました。



・2014年11月08日  
四條畷「花屏風」イベント・おおさか山の日ハイキングと植樹祭にて



昨年ひき続き、おおさか山の日イベントにて「ダンボールめいろ」を製作しました。



約2時間でダンボールめいろ設営が完了しました。



ハイキングのゴール地点で参加者の方々にぬりえを塗って、お願いも書いてもらいました。自然や山・どうぶつのぬりえをしてもらいました。



素敵な作品をダンボールめいろに貼って完成です。



みんな楽しく思い出に残るイベントができました。

工夫しだいで、思い出に残るイベントができるダンボールの魅力を知ってもらいました。

・2015年03月29日  
楠公まつり(四條畷市)にて、  
奉納 大ダンボール紙相撲大会を実施しました。



四條畷神社境内にて紙相撲大会です。  
参加者の子どもたちも立ちと色塗ります。



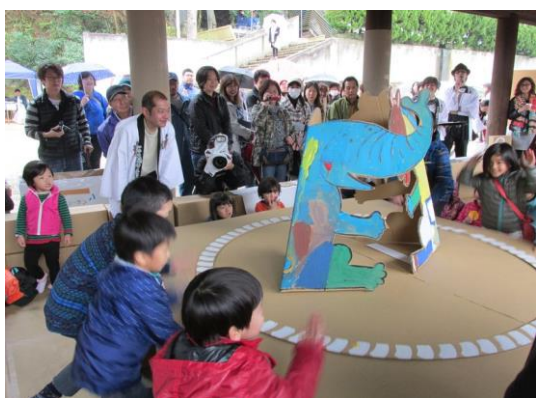
色塗りが終わると切り抜きます。  
ダンボールなので簡単にカットすることができます。



素敵なおダンボールカ士の完成です！



強そうなカバさんカ士！



最後はみんなで大相撲大会です。



決勝戦は武者とお馬さんの戦いで盛り上がりました

既成品でなく、各地域の特色を活かした創作をすることができる、ダンボール素材は  
とっても活用範囲が広い素材です。



・2015年04月25・26日  
ロハスフェスタ(大阪万博公園)にて、  
ダンボールめいろとみんなでお絵かき大会を実施しました。



大阪万博公園で盛大に開催されている  
屋外イベントロハスフェスタ会場す。

ダンボールめいろは大好評で入場待ちの列が  
できました。



単にめいろ遊びをするだけでなく、  
アーティストさんと一緒にお絵かきをします。

もちろん「めいろ」としても子どもたちに  
楽しんでもらいました。



アーティストの「なかもとりえこ」と子どもたちこどもの日が近いので鯉のぼりも追加しました。  
子どもたちで素敵な壁画ができました。 スイミープロジェクトも関連しています。

当社のダンボールイベントは単に楽しいだけでなく、エコ素材ダンボールを活かし、工夫することで  
思い出に残るように考えています。



## 1-2: エコ素材「ダンボール」を活用した、ワークショップ

・2014年10月18日  
寝屋川市立教育センターにて、ダンボールワークショップ



型抜きダンボールで絵馬や貯金箱をつくるワークショップを実施しました。



「ダンボール絵馬」や「ダンボールくっすんができました。

・2014年10月26日  
四條畷市 市民の集いにて、ダンボールワークショップ



市内最大の市民まつり会場です



来年の干支ひつじさんの絵馬づくりワークショップ



小さなお子様でも作りやすいように型抜きされています。



手を切りにくい特殊ギザギザカットとなっています。みんなかわいい絵馬ができました。

身近でエコな素材ダンボールを絵馬にして、お願いごとや夢を書いてもらいました。



・2014年11月09日  
なわてふれあい商工まつりにて、ダンボールワークショップ



型抜きダンボールでかわいい絵馬をつくるワークショップを実施しました。



すずがリンリン♪と鳴る、絵馬ができました。

・2015年01月17日  
ナンバ「じょぶ博」(ヤマダ電機ナンバ店)にて、ダンボールワークショップ



保育士さんの指導のもと、ダンボール工作を体験してもらいました。



お手紙たちは「ダンボール絵馬」づくり！

・2015年02月04日  
南風荘(高齢者施設)にて、ダンボール貯金箱づくり



高齢者向け「手指の体操」のテーマのもとダンボールの貯金箱をつくるワークショップを開催しました。



高齢者の方々も熱心に取り組まれるとともにお互いに教え合ったり、比べあったりするコミュニケーションも生まれました。



・2015年03月14日  
寝屋川教育センターにて、ダンボール貯金箱づくり



高齢者向けと同じダンボール貯金箱を子どもたちにも作ってもらいました。



子どもたちは、色をぬったり、飾りをつけたり発想に広がりがありました。

## 2:環境配慮製品の広報活動である展示会出展

・2014年06月04・05日「ビジネスマッチングフェア」出展【マイドームおおさか】



大阪市の「マイドームおおさか」にてビジネスフェアが開催されました。



120社を超える出展があり、ご来場者も多数おこしになります。

・2014年09月03・04・05日「東京ギフトショー秋」出展【東京ビッグサイト】



入場口の様子



「エコラボ」と題して、環境配慮製品の展示・広報活動を行いました。



・2014年09月26・27日「おおさかギフトショー秋」出展 【大阪OMMビル】



入場口の様子



東京にひき続き大阪でもエコ素材ダンボールの製品展示を実施しました。

・2014年11月09日「なわてふれあい商工まつり」出展 【四條畷市】



四條畷市商工会主催の商工まつり開催の様子



屋内ブースにて「ダンボール一む」展示

・2014年11月27・28日「ビジネスチャンス発掘フェア2014」出展 【マイドームおおさか】



入場受付の様子



「エコラボ」と題して、環境配慮製品の展示・広報活動を行いました。

・2015年01月31日「北大阪大交流会」出展【北大阪商工会議所】



北大阪商工会議所にて  
ダンボール製品紹介



パッケージ以外の製品を中心に展示しました。

・2015年02月16日「KOKOプラザ展示会」出展【新大阪】



KOKO PLAZAの案内看板



実物大めいろキットユニットを展示

・2015年02月22日「なわて環境フォーラム」出展【四條畷市】



入場口の様子



「地球環境球を大切に」のパネル展示  
リサイクルマーク啓蒙パネルの展示

・2015年02月24日「玉造展示会」出展  
【大阪市天王寺区】



ダンボールによる展示台で陳列しました。

・2015年02月27日「ファンド採択者展示会」  
【マイドームおおさか】



おおさか地域創造ファンド成果報告会を  
兼ねた展示会に出展しました。



### 3:工場近隣の児童公園にて清掃と除草作業

環境活動意識向上の取り組み

地域の環境保全活動の取り組みとして近隣の児童公園の清掃及び除草作業を行いました。

2014年06月14日土曜日および10月11日に実行。朝8時より作業。

登録:「四條畷市役所・建設課」へ登録・許可を得て作業。



2014年06月14日公園のようす



開発51号公園



たくさんの雑草が生えていました。



かなりきれいになりました。



2014年10月11日公園のようす



雑草だけでなく、落ち葉もありました。



夏の間根が張っていると作業が大変です。



タバコ吸い殻などゴミも少々ありましたが、  
てわけて綺麗な公園に戻りました。

## 4-1:安全講習

### □ 安全講習会の実施

2014年07月18日

「安全講習会」を実施しました。

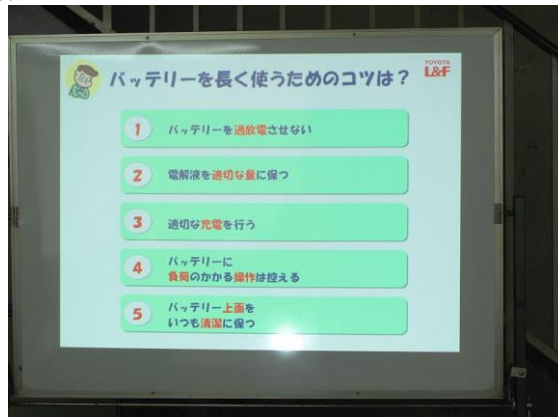
講師:トヨタL&F近畿販売様

#### 第1部:工場内での安全を中心に学習



お互いが注意して、工場内災害を防止する ヒヤリ・ハットの気づきと対策など

#### 第2部:バッテリーリーチフォークリフトの実技と特徴について



実際のリフトを使いながら  
安全確認・操作手順など講習を受ける。  
今後も定期的に、安全講習会を実施し、事故ゼロを推進します。

バッテリーを長持ちさせる操作やメンテは  
安全運転にも繋がる。



## 4-2: 避難訓練

### □ 避難訓練の実施

地震発生を想定した防災避難訓練を実施しました。  
2014年9月5日「大阪880万人訓練」を活用し、実施。

携帯電話からの「緊急地震速報(訓練)」の音が鳴ると共に、身の安全を第一にしつつ、集合場所への時間計測を行いました。

今回事前連絡なしで実施したところ

全員の安全確認まで4分以上かかってしまいました。(去年は約2分)

まだまだ災害に対する意識が低いとわかりました。

また、BCPの作成周知の検討を進めたいと考えています。

**訓練でどのような行動を取るか考えておき、  
9月5日(金) 訓練当日に実行しましょう!**

**11時** 館内放送や屋外スピーカーなどでお知らせします。  
**地震発生!!** 館内放送 屋外スピーカー  
電車等の車内放送

**11時03分頃**  
**大津波警報発表!!**  
訓練用のエリアメール/緊急速報メールが届きます。  
マナーモードにしていても鳴ります!

※緊急地震速報のプーア音ではありません。  
※携帯電話の対応機種など詳しくは携帯電話会社でご確認ください。  
※大阪府全域向けの発信に限り、2回音を発信する場合があります。

エリアメール/緊急速報メール (受信者のみ)  
おおさが防災情報メール (登録者のみ)  
Yahoo!防災速報 (登録者のみ)

◎おおさが防災情報メール・Yahoo!防災速報でも訓練情報をお届けします! (いずれも登録者のみ)

**おおさが防災情報メールにご登録を!**  
気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・指示や緊急のお知らせなどをメールで配信します。エリアメール/緊急速報メールを受信できない方はぜひご登録を!  
登録は「おおさが防災情報メール」検索  
※携帯電話での登録はQRコードから→(空メールを送信してください)

**Yahoo!JAPAN「防災速報」アプリ**  
訓練ではアプリ版のみを使用いたします。  
防災速報スマートフォンアプリをインストール頂くと、地震・津波などの情報をプッシュ通知で、いち早く受け取ることができます。

**地震が発生したら「まずは身を守る」**  
●屋内ではテーブルの下に  
●屋外ではブロック塀の倒壊や落下物に注意

**揺れがおさまったら津波に備えて「すぐ逃げる」**  
揺れがおさまったら  
●火の始末、火が出たらすぐ消火  
●戸を開けて出口を確認、外に出るときはあわてずに  
●互やガラスなどの落下物に注意  
●隣近所に声を掛け合って避難  
●避難は徒歩で、荷物は最小限に  
●浸水の恐れのある地域では津波から避難

**日ごろの備えがあなたの命を守ります**  
災害がいつ起こってもあわてず行動ができるよう、普段から備えておくことが大切です。  
●持ち出し品、貴重品の用意を  
●家具類を固定するなどし、家中に安全空間を  
●住宅の耐震化を  
●避難場所、避難経路の確認を  
●地震が発生した時の連絡方法と会う場所の確認を

**大阪880万人訓練**  
Osaka 8.8million drill

各事務局のお問い合わせ先  
大阪府 06-6941-0351 (代表)  
大阪府 06-6910-8001 (府民お問合せセンター)  
大阪市 06-6208-7387  
堺市 072-228-7605

## 5: 地域の啓蒙活動や中学生の職業体験

### 5-1: 地域でのエコ・リサイクルの啓蒙活動

2014年7月19日

「ダンボール屋さんのまちおこし」と題して、市立公民館にて市民講座をさせていただきました。リサイクル・リユース・リデュースの説明やダンボールでまちおこしのお手伝いの事例報告を行いました。



2015年4月13日 地元小学校へダンボール書架の贈呈を行いました。

地元の特徴を随所にあしらったダンボール書架です。

ダンボールの質感と素材の強度や工夫した点を児童のみなさんに紹介しました。





## 5-2: 中学生の職業体験実習



2014年11月12・13・14日の3日間地元中学生が職業体験に来てくれました。  
安全面や挨拶など従業員も見直しのよい機会となりました。



2015年1月15・16日は別の中学校から職業体験に来てくれました。  
チームワークもよく、安全意識も高く従業員にもよい刺激となりました。

## 6: 事務所蛍光灯のLED化

2015年3月7日 事務所及び食堂の蛍光灯をLED照明に変更しました。



事務所のLED照明のようす



食堂のLED照明のようす



省エネかつ明るいので、従来の半分以下の電気量でまかなえるようになりました。

今後工場内蛍光灯も交換していくことに決めました。

次回レポート発行予定: 2016年9月頃